

生涯学習「西柴」 ミニコンサートの報告

11月30日（火）、待ち望んでいたミニコンサートを以下のようなプログラムで開催することができました。





ヴァイオリンもピアノ伴奏も力強く、時に優雅に聴衆を魅了しました。
身近で聴く生演奏は格別で、心が洗われるような気がしました。
午前中のコンサートはあまり例がないようで、緊張されたとのことでした。
それでも熱の入った演奏に涙が出たという方もいらっしゃいました。
コロナウィルス感染予防のため、演奏者もマスク姿です。
演奏者のお二人は能見台在住で、それぞれの演奏活動の他に 20 年来パートナー
を組み地域の音楽環境の育成、向上に貢献していらっしゃいます。



皆さんがミニコンサートを楽しみに待っていたお気持ちが、会場に満ち溢れていました。

当日は前夜からの雨は止みましたが、寒い日でした。

途中で換気のため窓を開けましたが、少々の寒さは気にならないという熱気に包まれていました。

アンコールの掛け声に、2曲演奏してくださいました。



コロナウィルス感染は現在下火になっていますが、座席は密にならないように間隔をあけて50席用意しましたが、満席でした。

会場に大勢の人が集まるのは久しぶりのことでしたが、皆さんおしゃべりは控えめにされていました。

ミニコンサート開催に当たり、瀬川常子さん(1B)にご尽力いただきました。最後に皆さんで感謝の拍手をしました。